

今号の主な内容

- 23 / 県老連理事会・評議員会
- 4 / 2万5千人会員増強運動
- 5 / 高齢者地域リーダー研修会
- 6 / 地域の元気づくり事業
- 7 / 中国ブロック連絡協議会
全老連女性代表者会議
- 10 / 健康づくり中央セミナー
- 11 / 全国リーダー中央セミナー
- 1213 / 会員の声
- 14 / 高齢者交通安全ニュース

岡山 晴ればれシニア

— 岡山県老連だより —
<http://okaroren.info/>

第13号

おかやま県老連だより
(通巻82号)
平成27年8月1日号

岡山県老連は50周年を機に愛称を「晴ればれシニア岡山」とし、広報紙の名称も変更しました。

新見市 鯉ヶ窪湿原 写真提供：岡山県



会長就任2年目を迎えて (支える人)

公益財団法人
岡山県老人クラブ連合会
会長 松尾 武司



平成26年4月に岡山県老人クラブ連合会会長に就任させて頂き早1年4ヶ月が過ぎました。会員加入促進、地域包括ケアシステム構築など大きな問題ばかりで、経常的な年間行事をこなすのが精いっぱいですが、頑張りたいと思います。

さて、平成25年1月に国の「高齢社会対策大綱」が発表され、その中で「高齢者」とは一律に「支えられる人」でなく、意欲と能力のある65才以上の者には支える側に回ってもらうよう国民の意識改革を図ることが書いてありました。

全国老人クラブ連合会が決定した「老人クラブ100万人会員増強運動」(平成26〜30年度5カ年計画)も昭和22年から24年生まれの子の団塊の世代が75才になる頃をにらんだ社会の仕組みに係ることです。県老連としても、ことし9月から11月にかけて、県下3会場地域包括ケア普及研修会を計画しております。研修内容は、介護保険制度と地域包括ケアシステムの概要、生活支援、介護予防の意義や他県における生活支援、介護予防の先進的な取り組み等です。受講対象者は、市町村老連の会長、副会長等の役員と事務担当者としており、人数に限られますので、各単位クラブまでの伝達をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、会員皆様には会員増強運動は2年目に入ったばかりであります。ご協力に感謝申し上げますと共にクラブ内で反省会をもつなど引き続き頑張ってくださいと思います。

暑さ厳しき折、呉々もご自愛下さいまして、楽しい老人クラブ活動をされますようお祈りいたします。

岡山県老人クラブ連合会
新役員就任挨拶



監事
前原春一

この度、三村監事の後を

引き継ぎました前原と申します。何分にも経験不足の若輩者で、不安がいっぱいのスタートとなりましたが、会員皆様のご指導のほど、お願い申し上げます。

さて、赤磐市老連も発足10周年を迎え、その活動は多くの先輩方のご尽力で、岡山県老連からも認められ、一昨年全老連からも表

彰を頂きました。

これからも、この良き伝統を守り、元気で明るい老連を引き継いで行きたいと、決意を新たにしているところでございます。

今、全国的にも、県老連も大きな課題を抱えております。それは、「会員数の減少」という問題です。赤磐市老連としまして、その例にもれず、何と

しても会員数減に歯止めをかけ、会員数増に真面目から取り組みねばと思っております。そのために、独自の名称のクラブにし、ますます元気なクラブに育てあげることが喫緊の課題と考えております。

さらに、活動の中身もいっそう工夫し、元気な活動ぶりをマスコミにも発信し、PRすることにより、

会員増に直結するのではと思っております。

会員の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いとぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員のみなさまをはじめ、ご家族のみなさまのご健康とご多幸をお祈りし、新任のご挨拶とさせていただきます。

(公財)岡山県老連

理事会・評議員会開催

平成27年3月開催の26年度第3回理事会、第2回評議員会において承認された主な内容についてご報告します。

◆第1号議案 平成26年度収支補正予算案について
スポーツ大会事業など43万円の減額補正が全会一致で承認された。

◆第2号議案 平成27年度事業計画及び収支予算について
次のおり全会一致で承認された。

○重点目標
①仲間を広げる加入促進運動の推進と魅力あるクラ

づくり

・二万五千人会員増強運動の推進

・活力あるクラブづくり

と女性会員の重要ポストへの登用

・各種研修会の充実

②会員の生活を豊かにする取り組み

・健康づくり支援事業の充実(地域の元気づくり事業)

・老人福祉大学の実施

・各種スポーツ地区大会の実施

③地域を豊かにする社会活動の実施

・地域を豊かにする社会活動の実施

・仲間を支える友愛活動

・次世代育成支援事業

・高齢消費者被害防止対策

・高齢者の交通安全対策

○事業計画

①会員の生活を豊かにする活動

・第40次岡山県老人福祉大学の開催(県下4会場 受講生約900名)

・健康づくり支援事業

・健康づくり推進委員会の開催

・健康づくり・介護予防事業(地域の元気づくり事業 7箇所)

・スポーツ地区大会開催事業(3地域)

・地域包括ケア普及啓

発事業(研修会の開催 3地域 300名程度)

②地域を豊かにする社会活動

・地域福祉支援活動(次世代育成支援事業、友愛活動事業、交通安全対策、特殊詐欺等防犯安全対策)

③組織・運営体制の確立

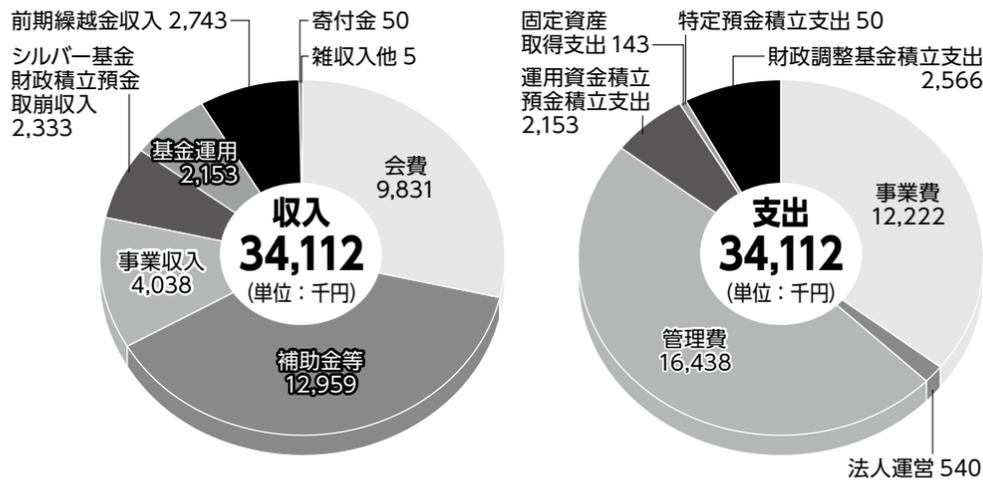
・高齢者地域リーダー研修会の開催(岡山、倉敷、津山、高梁、東備、美作の6地域で開催)

・第52回岡山県老人クラブ大会の開催(岡山県総合福祉大会)

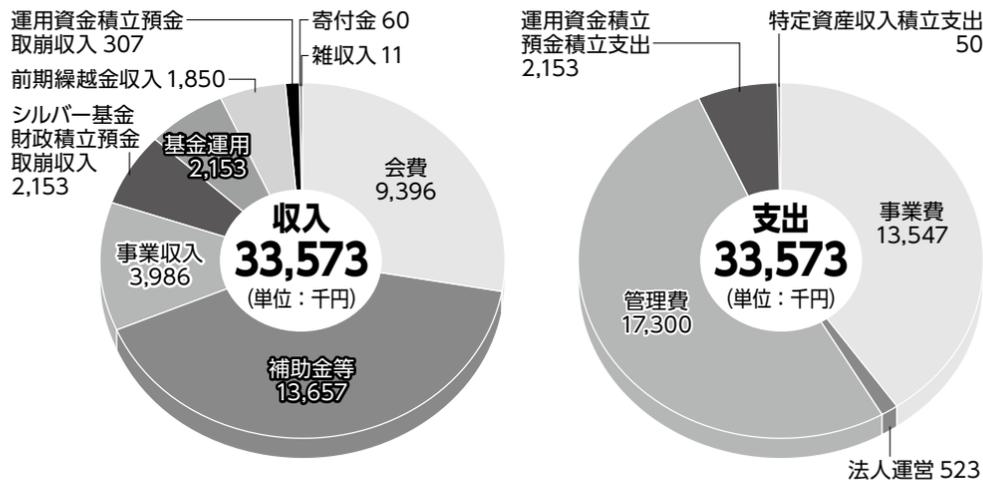
・会員加入促進事業(晴ればれシニア岡山



■ 平成26年度決算報告 ■



■ 平成27年度予算 ■



■ 平成27年度老人クラブ会員数・加入率状況 ■

区分	クラブ数	会員数	60歳以上人口	組織率
岡山市	627	36,730	215,959	17.0%
倉敷市	415	19,393	152,567	12.7%
津山市	194	9,556	36,680	26.1%
玉野市	69	4,859	26,187	18.6%
笠岡市	94	5,000	21,535	23.2%
井原市	56	3,639	17,367	21.0%
総社市	62	3,737	22,326	16.7%
高梁市	62	4,416	14,918	29.6%
新見市	91	6,589	14,433	45.7%
備前市	84	5,259	15,438	34.1%
瀬戸内市	80	5,862	14,479	40.5%
赤磐市	95	4,975	16,567	30.0%
真庭市	191	9,637	20,794	46.3%
美作市	152	7,984	13,311	60.0%
浅口市	83	4,912	14,408	34.1%
和気町	51	3,093	6,663	46.4%
早島町	23	1,376	4,071	33.8%
里庄町	37	2,598	3,971	65.4%
矢掛町	27	796	6,422	12.4%
新庄村	8	332	421	78.9%
鏡野町	71	4,133	5,785	71.4%
勝央町	21	1,166	4,100	28.4%
奈義町	23	993	2,436	40.8%
西粟倉村	12	382	627	60.9%
久米南町	34	2,330	2,504	93.1%
美咲町	73	5,121	6,932	73.9%
吉備中央町	45	1,941	5,785	33.6%
県計	2,780	156,809	666,686	23.5%

※平成27年3月末日現在

「二万五千人会員増強運動」)
 ・各種表彰事業
 ・広報活動(岡山県老連だより「晴ればれシニア岡山」の年2回発行)
 ・法人の运营管理(理事会・評議員会、各種運営委員会等)
 ○収支予算
 (円グラフのとおり)

◆4号議案 27年度一時借入金について
 一時借入金について200万円を限度とすることが承認された。

◆第五号議案 定款の一部改正及び評議員選定委員会設置規則並びに同運営規則の廃止について
 これまで評議員の選任及び解任は、外部委員を主な構成員とする「評議員選定委員会」にておこなうこととされていたが、評議員会で選任・解任を行えるよう定款変更が承認された。尚これに伴い関係規程の廃止も承認された。

◆第六号議案 岡山県老人クラブ連合会表彰規程の変更について

◆第1号議案 2号議案
 平成26年度において実施した事業について報告し承認されました。決算額については円グラフのとおりです。

◆第3号議案 岡山県老人クラブ連合会理事・監事及び評議員の選任について
 各市町村老連から推薦のあった下表の方々それぞれ承認されました。

◆第4号議案 岡山県老人クラブ連合会『シルバー基金管理規程』の改正について
 老人クラブが主体となつて行う地域福祉活動の補助などに必要な経費に充当可能とする改正が承認された。

全老連表彰規定との整合性を図り条件緩和をする規定改正が承認された。

評議員		監事		理事		地区
美作	備前	備前	備前	備前	備前	市町村
西粟倉村	新庄村	真庭市	井原市	吉備中央町	赤磐市	新見市
会長	会長	理事	会長	会長	副会長	市町村における役職
青木 美明	酒井 正博	樋口 博	鳥越 勇	井上 弘志	繁定 健三	前原 春二
金田 健治	池田 仁士	岩佐 和	正時 三郎	毛利 政	前原 春二	三村 勉
						橋本 茂
						前任者

晴ればれシニア岡山「2万5千人会員増強運動」進捗状況

さあ！やるぞ！
会員増強
2万5千人！

今や、65歳以上の人口が3,000万人を超える中、老人クラブは新たな仲間呼びかけ、共に基本理念である「①生きがいづくり②健康づくり③仲間づくり④地域づくり」の4つのづくり活動をめざします。そのため全国の老人クラブ関係者が総力を結集して、組織活動の基盤となる会員増強に向けて、全老連の提唱で、老人クラブ「100万人会員増強運動」を展開することになりました。この運動は、平成26年度から平成30年度までの5か年計画で推進します。県老連ではこの全国運動に呼応し、県独自の「晴ればれシニア2万5千人会員増強運動」を提唱し県下27市町村老連をはじめ老人クラブ関係者が一丸となり取り組んできました。各市町村老

連では、独自のスローガンや計画、目標を立て、役割分担を決めるなどして一生懸命取り組んでくださり感謝申し上げます。このほど、26年度の活動実績がまとまりましたので紹介します。皆さん頑張ってください。たにかかわらず県全体としては、5千人増やす計画が、逆に3,000人の減少となってしまいました。残念な結果となりました。しかし努力の結果、計画目標を上回った市町村老連が1か所、計画までは届かなかったけれど市町村老連全体で増加しているところが6か所、前年より増減なしが1か所でありました。これらの市町村老連におかれては並々ならぬ努力の結果であり敬意を表します。



晴れの国の
元気いっぱい
シニアクラブ



～老人クラブ加入のお誘い～

『晴ればれシニア岡山』は
晴れの国にふさわしく
晴ればれと気分もすっきり
元気いっぱいの
シニアクラブとして
活動しています

超高齢社会がやってきた今、老人クラブ活動は、高齢者が健康で長生きし自らの幸せを守り、地域を豊かにしていくために大変重要となっており、行政をはじめ地域社会からも大きな期待が寄せられています。この度、県下の老人クラブ員17万人が一丸となり、「さあ！やるぞ！会員増強2万5千人」の運動スローガンのもとに～晴ればれシニア岡山2万5千人会員増強運動～を展開しています。老人クラブ活動を魅力ある楽しいものに発展させていくためには、是非とも皆さんの力が必要であります。一度きりの人生です。充実した毎日過ごすためにも、ぜひこの機会に老人クラブに入会され、仲間と一緒に楽しく活動しませんか、お待ちしております。

【増加市町村老連(純増)】

美作市104人、
瀬戸内市78人、矢掛町55人、
里庄町48人、鏡野町24人、
奈義町10人、早島町4人

一年目の運動を終え成果、反省点など主な意見は次のとおりです。

- 定年延長され60歳代の会員獲得は困難である。
- 補助金申請書類の作成が煩雑なので役員の成り手がいないため解散するクラブが多い。
- 老人クラブの会長を自治会長に兼務してもらうこ

とで解散を免れた。○クラブの活性化を図っているがなかなか会員増には結び付かなかった。27年度は実態調査を実施してその結果をもとに取り組むことにしている。

- クラブの活性化方策としてサークル活動を核とした「健康づくり老人クラブ」を創設する。
- 未加入者に根気よく声掛けをし成果が出た。
- 市老連独自の「加入促進チラシ」を作成し運動を展開している。
- 町からの使用制限なしの

補助金が加入促進に大きな効果があった。

- 取り組みが遅れたことと、声掛けが足りなかった。
- 老人クラブ自体が高齢化しており、現状維持が難しい。

等々色々な成果・反省点があります。27年度こそは、皆で協力し総力を結集し目標達成に向けて頑張りましょう。報奨金制度も設けていますよ!!

※「加入促進用チラシ」がご入用の老連は県老連まで申し出ていただく。

高齢者地域リーダー研修会

開催期日と場所

会場	期日	人数	場所
岡山	6月29日(月)	180	きらめきプラザ
美作	7月3日(金)	100	湯郷地域交流センター
倉敷	7月28日(火)	150	くらしき健康福祉プラザ
高梁	8月27日(休)	100	高梁総合文化会館 他
津山	9月18日(金)	150	津山市総合福祉会館
東備	9月29日(火)	120	くまやまふれあいセンター

研修日程

※受付は 9:30～10:00 です

10:00 10:20 10:50 12:00 12:40 14:10 14:20 15:00

挨拶・表彰・説明	事業説明	講義	昼食・休憩	グループ討議	休憩	全体会	閉会



平成27年度高齢者地域リーダー研修会が次の開催要綱により県下6会場で開催されます。昨年に引き続き、女性リーダー研修会と合同開催となりますが、今年度の特徴は、日本全国をまたにかけ講演活動をしておられる、「moto to hyougo」事務局長の栗木剛氏を講師として迎え研修内容を充実してまいります。昨年は、小物づくり教室についても高齢者地域リーダー研修会の中で実施していただきましたが、参加者からの要望により、今年度は備前、備中、美作の3地域で開催することになっています。地域内で事業計画を立て申請されますと予算の範囲内で補助します。

この研修の意義や目的について考えてみたいと思います。

行政をはじめ地域社会からも我々老人クラブに対する期待は誠に大きいものがありますが、このような中でやはりリーダーの役割は益々重要になってまいります。

楽しく活動する為が一番必要ことは、良きリーダー、つまり「良き先導役」が必要であります。勿論取り巻きの人たちも、みんなで協力し支えていかなければなりません。受講後の皆さんは、それぞれの地域でリーダーとして活躍されることを期待しています。

平成27年度高齢者地域リーダー研修会が次の開催要綱により県下6会場で開催されます。昨年に引き続き、女性リーダー研修会と合同開催となりますが、今年度の特徴は、日本全国をまたにかけ講演活動をしておられる、「moto to hyougo」事務局長の栗木剛氏を講師として迎え研修内容を充実してまいります。昨年は、小物づくり教室についても高齢者地域リーダー研修会の中で実施していただきましたが、参加者からの要望により、今年度は備前、備中、美作の3地域で開催することになっています。地域内で事業計画を立て申請されますと予算の範囲内で補助します。

この研修の意義や目的について考えてみたいと思います。

行政をはじめ地域社会からも我々老人クラブに対する期待は誠に大きいものがありますが、このような中でやはりリーダーの役割は益々重要になってまいります。

楽しく活動する為が一番必要ことは、良きリーダー、つまり「良き先導役」が必要であります。勿論取り巻きの人たちも、みんなで協力し支えていかなければなりません。受講後の皆さんは、それぞれの地域でリーダーとして活躍されることを期待しています。

参加対象者

① 単位クラブの会長、副会長等の役員

少子高齢化の急激な進展のもと、縮小社会の到来など、社会構造の根本的な変化をはじめ、色々な問題に直面している。

老人クラブとしては、団塊世代の高齢化にともなうて生ずる豊富な社会資源を有効に活用し、明るく活力ある社会の実現に向け地域社会の構成員として自主的に健康・生きがいづくり(健康寿命の延伸)に努めると共に、社会動向も踏まえたクラブ活動をより一層促進していく必要がある。

本年度このような状況の中で、豊かな活力ある長寿社会を実現していくため、当面する課題について研究討議を行うことにより、高齢者リーダーの資質向上を図ることを目的とする。

趣旨・目的

少子高齢化の急激な進展のもと、縮小社会の到来など、社会構造の根本的な変化をはじめ、色々な問題に直面している。

老人クラブとしては、団塊世代の高齢化にともなうて生ずる豊富な社会資源を有効に活用し、明るく活力ある社会の実現に向け地域社会の構成員として自主的に健康・生きがいづくり(健康寿命の延伸)に努めると共に、社会動向も踏まえたクラブ活動をより一層促進していく必要がある。

本年度このような状況の中で、豊かな活力ある長寿社会を実現していくため、当面する課題について研究討議を行うことにより、高齢者リーダーの資質向上を図ることを目的とする。

開催要綱

を期待しています。皆さん！、リーダーの力を結集して、仲間を増やし老人クラブを魅力ある、楽しい組織とし、発展させていきましょう。

研修内容

① 事業説明
『平成27年度県老連事業について』県老連事務局

② 講義
(1) 『今後の県老連の運営方針について』
県老連会長・副会長
(2) 『これからの老人クラブに期待すること』
motoひようご事務局長
栗木 剛(岡山・倉敷・高梁・東備・美作)



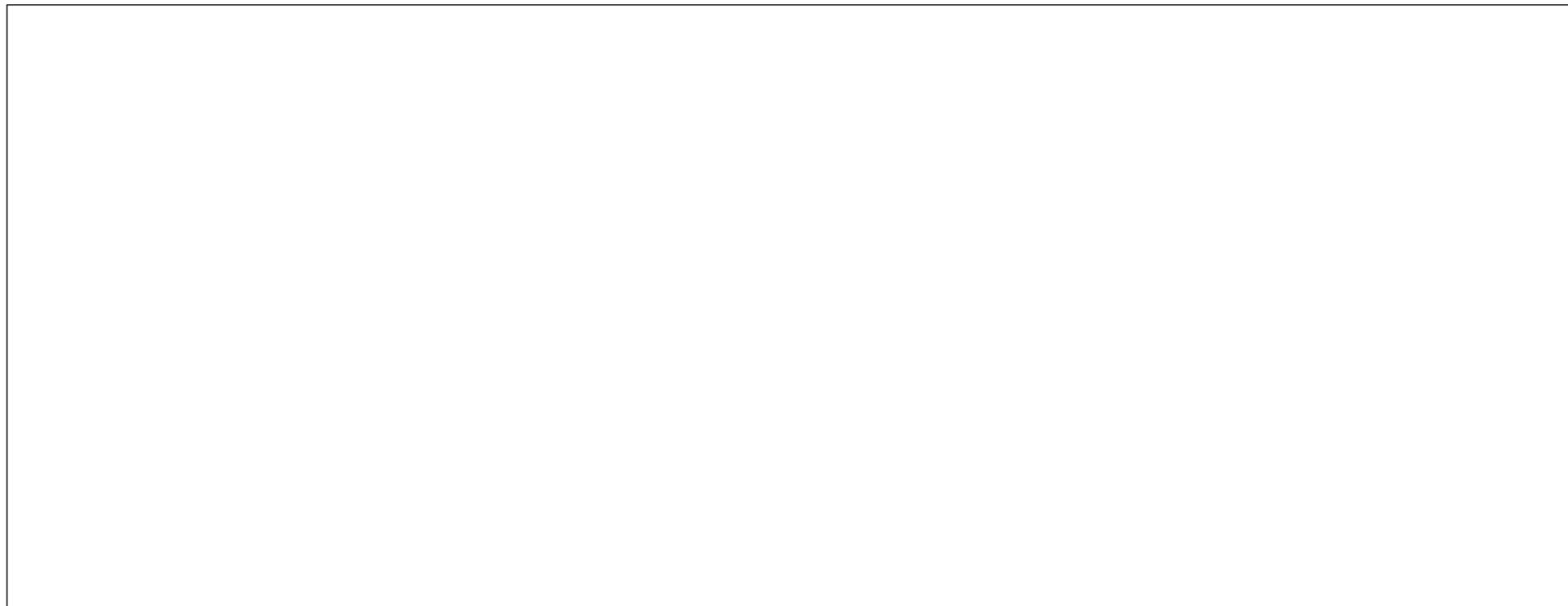
② 支部、地区、地域等老連における女性リーダー又は今後活躍が期待される方

③ 上記役員

④ 市町村老連事務担当者、関係機関、高齢者団体のリーダー等高齢者福祉に関心がある者(担当の方の積極的な参加をお願いします)

③ グループ討議「会員増強等」

④ 全体会・閉会：グループ報告、まとめ、意見交換





正月早々から市町村老連の皆さんに呼びかけて平成27年度地域元気づくり事業実施希望を募りました。その結果19地区から要望があり、4月28日「健康づくり推進委員会」を開催して事業の妥当性、事業効果、公平性等いろいろの方面から検討していただいた結果、19か所すべての事業実施が決まりました。委員からは昨年度(24か所)より応募数が減少しているのは、申請手続きが煩雑なことが原因なのかとの質問があり、事務局としては、それぞれのケースにおいて、事業実施要綱に当てはまるようきめ細かな指導を行つていく。健康づくりと次世代育成支援事業は、国・県補助事業も含まれているので最低限の基準は守ってもらっているが、できるだけ縛りはゆるく、シルバー基金助成対応も混合して、今年度は、応募地区全部が事業実

施できるよう努力したと答弁があった。そのほかの意見として、これまで老連が実施した事業は、運動、食生活、社会参加など織り交ぜた健康づくりにはとても良い事業ばかりだ。これからの会員増強にもつながることだから各地域の特性を生かし、初めてのところも手を上げやすくして事業拡大に努めてほしい。講師が必要な時は、できる限り協力をするので申し出てほしいというような意見が団体代表から出され、大変ありがたく心強く思いました。来年度も実施したいと考えておりますので、新規事業ばかりではなくても、これまででの事業に一ひねり工夫を加えるなどして、今から申請の準備を始めてください。公平に地域バランスも考えながら事業採択したいと思います。たくさんのお応募期待していますよ。

平成27年度「地域元気づくり事業」実施地区一覧

	市町村	実施団体	健康づくり(円)	次世代育成(円)	シルバー基金(円)	小計
1	玉野市	玉野市老人クラブ連合会(玉原福寿会)	57,000	43,000		100,000
2	瀬戸内	瀬戸内市老人クラブ連合会	100,000			100,000
3	赤磐市	赤磐市老人クラブ連合会	100,000			100,000
4	和気町	佐伯地区老人クラブ連合会	100,000			100,000
5		和気町老人クラブ連合会(吉田地区を含む)	100,000			100,000
6	倉敷市	倉敷市老人クラブ連合会(水島学区、連島学区)	72,500	27,500		100,000
7		児島地区老人クラブ連合会		100,000		100,000
8	高梁市	高梁市老人クラブ連合会(鶴鳴・成美連合長寿クラブ)		100,000		100,000
9		高梁市老人クラブ連合会(川面長寿会)			100,000	100,000
10	新見市	新見市老人クラブ連合会(長屋長寿会)	50,000		50,000	100,000
11		新見市老人クラブ連合会(哲西支部)	100,000			100,000
12	里庄町	里庄町老人クラブ連合会(屋中・高岡分館老人クラブ)			50,000	50,000
13	津山市	津山市老人クラブ連合会(城西地域)		100,000		100,000
14		津山市老人クラブ連合会(勝北支部)	100,000			100,000
15		津山市老人クラブ連合会(久米支部を含む)			100,000	100,000
16	真庭市	真庭市老人クラブ連合会(金冠会)	85,000	15,000		100,000
17	鏡野町	鏡野町老人クラブ連合会(公民館区老連)		100,000		100,000
18	美咲町	美咲町老人クラブ連合会(旭支部)			50,000	50,000
19		美咲町老人クラブ連合会(中央支部、小原新生会)			100,000	100,000
合計			864,500	485,500	450,000	1,800,000

第29回女性委員会総会開催

去る6月23日県老連平成27年度女性委員会総会が、きらめきプラザ会議室において開催され、27年度女性委員会活動計画について協議しました。

女性委員の交代がありました。

(女性委員の移動)

地区	市町村	新任	前任	任期
備前	備前市	有吉 幸子	久井八重子	平成27年5月22日～28年4月30日
	瀬戸内市	平原 禮子	平野 五香	平成27年7月1日～28年4月30日
備中	高梁市	大崎 清子	加藤 淑子	平成27年6月17日～28年4月30日
美作	真庭市	宮島 郁枝	稲田富美子	平成27年6月17日～28年4月30日
	新庄村	高島 圭子	大野 孝子	平成27年5月12日～28年4月30日
	西粟倉村	江見 米代	平田 鈴子	平成27年5月20日～28年4月30日
	久米南町	杉山 弘子	中島富喜子	平成27年5月22日～28年4月30日

平成27年度

中国ブロック県・指定都市 老人クラブ連合会連絡協議会に参加して ～のばそう健康寿命・担おう・地域づくりを～

県老連副会長 三宅 安治



時代の大きな転換期に直面し、高齢者自身がその培われた知識と経験によって高齢社会の担い手となること、老人クラブがそれを主導して行くことが求められている今、我々は福祉の充実や地域課題への対応に積極的に取り組んでいく必要がある。本会はこうしたなかで老人クラブ活動のさらなる充実発展をめざし、情報交換や課題について研究協議を行う為に、中国五県から七老連四十二名が参加して四月三十日 午後二時、山口湯田温泉「ホテルかめ福」で開催された。

地域の支援を必要とする会員・高齢者を対象に、声かけ・安否確認・話し相手・ゴミ出し・外出支援等の友愛活動に取り組んできました。この経験を活かし、新地域支援事業の理念の共有に努め、介護予防・生活支援サービスの担い手として、行政や住民・関係者と協働した活動を進めましよう、と提案がありました。

新地域支援事業に取り組む事で、老人クラブ活動が一層活性化され「100万人増強運動」に弾みをつけることにもなります。高齢者が住み慣れた自宅・地域でできる限り暮らし続けていけるようにする「福祉のまちづくり」の取り組みでもあります。公的な介護保険制度に加えて、住民参加型の生活支援サービスが地域ごとの実情に応じて拡大・進展する事により、高齢者だけでなく、子供や障害のある人、全ての世代にとつての「福祉のまちづくり」につながります。老人クラブはこれまで「健康・友愛・奉仕」を基本に、地域で助け合い・支え合いの活動を行ってきました。老人クラブが新地域支援事業の担い手として、会員のみならず地域の高齢者による支援の輪を広げることとは、現在すすめている「100万人会員増強運動」の成果にもつながるものと

期待されます。老人クラブの皆様には、今後とも高齢者福祉の増進に貢献していただくとともに、地域支援事業への取り組みを通じて新たな老人クラブの創造にチャレンジし、健康長寿社会の実現に寄与されることを期待しています。

期待されます。老人クラブの皆様には、今後とも高齢者福祉の増進に貢献していただくとともに、地域支援事業への取り組みを通じて新たな老人クラブの創造にチャレンジし、健康長寿社会の実現に寄与されることを期待しています。

1 「100万人会員増強運動」の推進
老人クラブ「100万人会員増強運動」(第2年次)の推進について

2 新地域支援事業に向けた行動提案
老人クラブでこれまで実施してきた「友愛活動、健康づくり・介護予防活動」の経験を活かして、市町村が行う新地域支援事業に地域住民として共に参画しよう。

3 老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーン
被害状況
・平成26年のオレオレ詐欺等の被害総額約559億円、過去最悪を更新
65歳以上の被害件数は全体の78・8%(前年比13・4%増)
・平成24年度被害状況では、被害者の6割が60歳以上の女性
老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーンの推進
仲間を支えよう!地域の高齢者を守ろう!

4 推進方法
(1)「見守りサポーター」の養成
○市町村老連において「見守りサポーター」の養成講座開催に取り組む。
○単位クラブにおいて「見守りサポーター」を中心とした被害防止活動に取り組む。

(2)関係機関・団体と連携した被害防止活動の展開
○全老連、都道府県老連、市町村老連の各段階において、関係団体と連携して高齢者の消費者被害防止活動に取り組む。

平成27年度
都道府県・指定都市老連
女性代表者会議に出席して



推進期間：平成26年度から28年度
老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーン要綱
仲間を支えよう!地域の高齢者を守ろう!

吉備中央町

私たちの活動報告

吉備高原地区老人クラブ 片山 登

吉備高原都市は吉備中央町に位置し、東西南北と長坂の5つの地区で構成され、私たちの吉備高原地区老人クラブは、最初に分譲された北部住区の老人で結成されています。

平成8年旧加茂川町老人クラブ会長の土居正司さんの勧めでつくられたと聞いております。現在の会員は女性16名、男性7名の23名で、その内14～16名が常時活動に参加しています。

活動は親睦、健康、奉仕をテーマに年2回の研修旅行、月1回の「いきいきサロン」では、会員が集まり、料理やデザートを作り会食時には社会福祉協議会の指導でストレッチ体操、頭の体操、女性は毎週月曜日を趣味の会と称し、それぞれしたいことをし談笑しながら時を過ごし、また、月2回講師を招きみんなで歌を唄い、その成果を年1回の住区主催のオクトーバーフェスタ(ワインやビールを飲みながら聞く音楽会)に発表し、住区の夏祭りには、金魚掬い、ヨーヨー釣りなど出店し子どもたちに喜ばれています。

吉備高原小学校には、毎年ゲストティーチャーとして招かれ女性はお手玉、男性は空気紙鉄砲と一緒に作り遊び、吉備高原幼稚園では夕涼み会(七夕)、年末の餅つきの手伝いなどで交流を深めています。

その他、年2回の町内ゴミ拾い、「花いっぱい運動」の花植などの活動を行っています。

今年4月17日は役場のバスで「八塔寺・ふるさと村」に行ってきました。標高400メートルの高台に開けた里山は、カヤ葺きの家々、水車小屋、山桜の白、新緑のあわい黄色に彩られ、その息を飲む美しさは、まさに桃源郷とはこんな里山に違いないと思いました。

しかし、カヤ葺きの屋根の傷みが激しく、村長さんのお話では、どこからも予算がなくて悩んでおられました。県下の老人クラブの方々により多く訪れていただき、その素晴らしい景色と惨状をご覧になり、その修復と保存に県老連として取り上げ運動して頂けたらと思いました。

最近読んだ帚木蓬生さんの「安楽病棟」に「動死」という言葉がありました。生きた「屍」という意味でしょうか。家族や社会のお荷物にならない「いきいき」した老後をおくりたいものです。

とびっこくす
Topics

県下各クラブの活動紹介



鏡野町

三世代交流について

鏡野町老人クラブ連合会 郷老人クラブ 会長 藤本 信男

鏡野町立南小学校に郷幼稚園があります。地区の老人クラブ360名で約半数は80歳を越えています。私達は「温故知新」を合言葉に交流会を実行している年数回の内、郷幼稚園の二つの行事を紹介します。年末のお飾り作りは楽しく視線を低く合わせています。稲藁を中心に色紙など別に買い求めて園児一人に二組のお飾り材料を用意し一対二で作ります。「おじいちゃんこどうするの」「こうするんだよ」各班でも同じお話ができています。「できた」「僕も私も」初めての自作のお飾りに満足そうに両手で「ばんざい」の姿に老人会の人々は笑顔になります。来年のとんど祭りまで門松とともに飾ることを約束しました。

新年を迎えた園児の作ったお飾りが見られる一月中旬とんど祭りの日、あらかじめ集めた木材を井桁に組んで二米四方高さ三米が完成。老人会の人々が火の神アポロ

となり火をともします。井桁に組んだ廻りには小さめのトーチを園児と女性部とで一組となり、火の神より同時に受、点火します。白い煙と炎が天まで届けと昇ると昨年用意したお飾りと書初めが煙と炎の中。園児の「やった」「すごい」の声。万一のため消防署より消防車と職員三名が来園しました。火の大切さと火の恐ろしさを説明。園児も老人も静かに聞いていました。炎が小さくなると、女性部の用意した「ぜんざい」の出番。お皿は竹の手作り。「おいしい」楽しい声。最後の行事ではお飾りの灰をお互いの「おでこ」「ほっぺ」につけると「変な顔」「○○ちゃんなの」老人会の会員の顔も灰をつけられて黒い人がおり、楽しい行事は終わりました。来年も再来年も楽しく続ける事を約束して解散。私たちは三世代交流の意義をお互いが確かめ合うことができました。



新庄村

「中学生とグラウンド・ゴルフを楽しむ会」

新庄村老人クラブ連合会 会長 酒井 正博

岡山県内でも高齢化率の高い新庄村では、老人クラブの活動をとおして会員の健康促進、地域貢献、子ども達とのふれあい等に取り組んでいます。さまざまな事業のなかでも、中学校の生徒と老人クラブ会員の交流を目的とした「中学生とグラウンド・ゴルフを楽しむ会」を紹介いたします。これは老人クラブ会員と中学生の混成チームによるグラウンド・ゴルフ大会ですが、中学校の生徒会が準備段階からいろいろと関わりをもってくれます。

まず各单位クラブから参加者を募ると、中学校の生徒会が地域によって組分けを考えます。そして参加者は招待状を直接頂き、当日は作ってくれた名札をかけて一緒にホールをまわります。初めてグラウンド・ゴルフをする生徒が多いので、老人クラブ会員が教えながら競技を進めていくと、自然と会話も弾みます。

最後には同じチームごとに記念写真をとって、老人クラブからは感想を書いて渡し、それが後日に生徒会でまとめた感想文が届きます。

この日はグラウンド・ゴルフ大会の成績に一喜一憂するだけではなく、地元の中学生とのふれあいという貴重な体験に心が温まる一日となります。



真庭市

湯原支部会誌「しあわせ」

真庭市老人クラブ連合会 湯原支部

年度末に発刊している会誌「しあわせ」は、会員相互の文字による交流と創造の高揚の場となることを目的として、教養文化部で原稿の募集を行い、校正・編集には支部役員も加わり、印刷・製本までを手作りで行っています。

随筆・紀行文・詩・短歌・俳句・歴史に関わる文書等々、内容豊富で楽しめるものとなっています。

ページ数に制限は無く、寄せられた原稿は全て掲載することとしており、毎回40点前後の投稿をいただいています。

自分たちでの作成には、経費削減も理由の一つですが、完成し会員の手元に届け終えた時には、達成感を得る事ができますので、部員、役員共やる気を持って取り組んでいます。

会員の皆さんは、人生経験と話題も豊富な作家です。書くことが得意な方、そうではない方も、一層のご寄稿をいただき、次号へとつなげていきたいと思ひます。

新見市

支え合う料理作りと資源ごみ回収

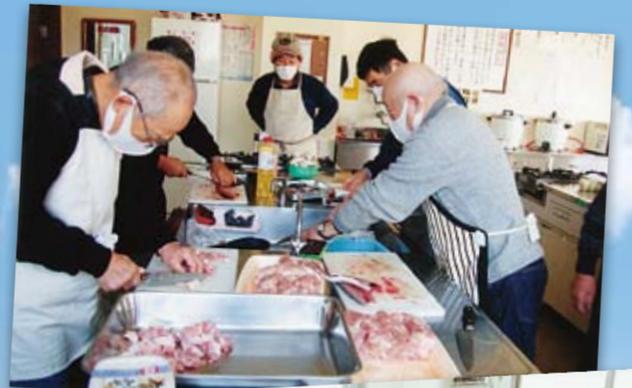
新見市老人クラブ連合会 高尾長寿クラブ 会長 宮地 昇

私たちの会の活動の中心は、現在では料理作りと資源ごみ回収であります。

料理作りと配食活動は健康づくり事業として、平成16年から実施しております。最近では総会月と正月を除いて毎月1回行い、事前にレシピを作り食材の種類と量が多いため業者に発注しておいて、当日は、参加者全員がそれぞれ能力に応じた調理や折り箱、食器の準備などに働き、1時間余りで6品ほどの調理を終わり、完成した品から順に、折詰や食器に盛り付け、高齢や病弱などで料理作りにも苦勞されている会員で、毎年事前に募った希望者30名ほどの75歳以上の高齢者世帯に昼食前には届け、安否の確認などに努めます。そして配食が終了したら、全員で会食し料理の出来具合や仲間の近況などを中心に和やかな歓談の時間を過ごします。

資源ごみの回収は平成24年度から実施し、事前に収集日を通知して役員を中心に出席していただき年4回行って、対象が紙類や瓶・布・缶類などの重い物でごみステーションまで搬出できない会員には庭先まで回収に回り、地区内の受け入れ業者まで運び、分類別に仕分けをします。この回収手数料などの自主財源が収入に占める割合も高く、健康、奉仕、親睦、友愛など多様な事業の活動資金として有効に活用しています。

活動の一部を紹介しましたが、長寿が真のよろこびとなるような明るく住みよい長寿社会の実現を目指して、組織を挙げて頑張っています。



第12期

「健康づくり中央セミナー」 受講報告



瀬戸内市老人クラブ連合会 会長 吉田建太郎



開催要項

平成27年3月2日～3月4日 中央福祉学院「フォース湘南」において全国老人クラブ連合会主催の研修会に出席しましたのでその概要を報告します。(参加者 61名)

講座概要

(紙面の関係で項目のみ)

1 基礎講座「介護予防と老人クラブ」

国際医療福祉大学大学院 教授 竹内 孝仁
○介護予防で老人クラブに期待する役割と認知症についての学習。

2 専門講座(運動)「高齢期の運動による健康づくり」(講義)

順天堂大学名誉教授 武井 正子
○超高齢社会の現状と将来
○暮らしの中に運動を(タオル体操のすすめ)

3 専門講座(運動)「高齢期の運動による健康づくり」(実技)

順天堂大学名誉教授 武井 正子

4 専門講座(歯、口腔)「歯、口腔の健康づくり」

日本歯科医師会 地域保険委員会 ワーキングメンバー

講師 高田 靖

5 専門講座(高齢期に多い事故とその予防)

東京消防庁防災部 防災安全課生活安全担当 係長 田中 富也

6 専門講座(栄養)「高齢期の食生活のあり方」

日本栄養士会専務理事 迫 和子

7 専門講座(薬)「くすりの正しい使い方」

日本薬剤師会理事 渡辺 和久

8 グループ討議「健康づくりを広げよう」

10班に分かれて、推進員として今回の研修をどう活かすか討議する。

9 専門講座(医療)「上手な医療の受け方」

日本医師会常任理事 羽鳥 裕

〈まとめ〉

「健康づくり推進員に期待する事」として以下を学ぶ。

1 健康づくり、介護予防活動の重要性。

○2025年問題を抱え、わが国の社会保障制度の安定の為に、今後、自助、互助による「健康づくり、介護予防」は老人クラブの中心的な活動となる。

○高齢者の最大の関心事は「健康」

○介護保険、高齢者医療への社会的な関心の高まり。

2 老人クラブにおける健康づくりリーダー(単位クラブに設置)シニアスポーツリーダー(市町村に設置)

○「健康づくり推進員」は「健康をすすめる運動」の実効性を高めるための推進役。

3 健康づくり推進員の設置。

○「健康づくり推進員」は「健康をすすめる運動」の実効性を高めるための推進役。

4 健康づくり推進員に期待される活動。

○健康づくり事業への支援、協力、「健康リーダー」の養成。
○老人クラブでの健康学習、実践の推進役。
○関係団体と連携し、健康づくり、介護予防、生活支援

受講した感想

(印象に残った点、良かった点)

○2泊3日と表向きハードなセミナーであったが、ハードさを感じさせない楽しいセミナーであった。
○各講義から共通に学びとった事は、今わが国が置かれている高齢者社会での社会保障制度の現状に対応した対策、試案の数々、及びそれに伴った高齢者自らの健康づくりの大切さ、重要さをしっかり学び取った。

○講座については全体的に

「健康づくり」に欠かさない基礎知識、専門的知識が幅広く網羅されており、内容の濃い講座であり、大変良かった。

○受講した講座をそのまま、持ち帰って、健康講座、学習会に活かせるという、と感じましたが私にとっては非力で、その実現は難しいと思いました。唯、この様なセミナーの形を変えて健康講座、学習会を行う事に対しての企画、実践での協力、支援については出来るかなと思いましたが、

○講座の中で、特に武井講師による「高齢期の運動による健康づくり」の実践編での「いきいきクラブ体操」(いきいきタオル体操)については即応用して実践できるのではないかと思えました。足元(瀬戸内市)から実施していこうと考えています。

○まとめの、4「健康づくり推進員に期待される活動」については、しっかりと頭に置いてこれからの老人クラブ活動の指導、推進に努力して行きたいと考えています。

この度は「セミナー受講」の良き機会を与えて頂き誠に有難うございました。

以上

第33回全国老人クラブリーダー 中央セミナーに参加して

和気町老人クラブ連合会

(日程)平成27年6月1日～2日
(会場)東京 新霞が関ビル
全国社会福祉協議会第3会議室東京
(参加者)92名(リーダー80名、事務局12名)

副会長 水島康夫
事務局長 宇高淳二

1. 全国老人クラブ連合会

副会長挨拶(要旨)

昨年度から平成30年度までに100万人の会員を増強する取組を行っているところであり、皆様方の県老連・市町村老連におかれても、なお一層、会員増強運動にお取り組みをお願いする。

2. 厚生労働省説明

厚生労働省老健局振興課課長補佐の川部勝一氏より、「介護予防・日常生活支援総合事業」について説明があった。

(説明要旨)

今回の介護保険制度の改正案は、医療、介護予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現するためである。

高齢者の社会参加のニーズは高く、地域社会から期待されているので今後とも各県の老人クラブ連合会の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

3. 基調報告

全国老人クラブ連合会常務理事の斉藤秀樹氏より、老人クラブとして100万人会員増強運動の推進及び老人クラブで実施してきた、友愛活動・健康づくり・介護予防活動の経験を活かして、市町村が行う新地域支援事業に地域住民と共に参画しよう。

最後に、よりよいクラブ活動のためには、①活動の記録と継承、②会計の透明性、③会員の安全対策(傷害保険)が望まれる。

4. 事例発表

(1)茨城県坂東市新町シニアクラブ会長

倉持 萬吉氏

「社会福祉協議会や町内会、福祉推進員等の協力を得た会員増強の取り組み」の説明があった。

(2)鳥取県伯耆町老連

若手委員長 加川 重之氏

60～75歳の若手委員会を立ち上げ、「主役になるな」

5. グループ協議

参加者92名を8班にグループ分けし、「A単位クラブにおける会員増員」「B連合会における会員増強」のテーマでグループ討議が行われた。

Aグループ(宇高淳二)での討議では、グラウンドゴルフ等のクラブ活動を通じて中間づくりをすること、また、Bグループ(水島康夫)では、勧誘報償金の創設の必要性が論議され、実りあるものであった。

6. 記念講演(6月2日)

演題「新地域支援について」

講師 文京学院大学准教授

中島 修

単身世帯、高齢者単身世帯の増加が予想される。



今回の医療介護総合支援確保推進法の改正に関し、要支援者を地域の隣人、友人、ボランティア、福祉委員、民生委員、NPO等が地域包括支援センターと共に支える。病院、買い物、足がない場合はどう解消するか、手伝いできないか、老人クラブがどう活動するか期待されているから重大である。

老人クラブにとって、これから大切になる取り組みは、健康づくり・介護予防活動の充実、高齢者相互の支え合い、友愛活動の地域づくりに向けた取り組みである。

今回のセミナーでは、これからの国全体の方向として、これまでの介護保険制度が成り立たないから、厚生労働省では「新地域支援事業」として、地域包括ケアシステムの構築を進めている。

これは、私見ではあるが、健康で元気な老人クラブ員が地域社会の担い手であり、介護状態になった時、各種のサービスを、老人クラブ員であった人が優先的に支援がいただけるような検討もあってはいいかな! と思っております。そうすれば会員数も増加するのではないかと考えます。

今回のセミナーに参加する機会をいただき、ありがとうございます。以上

会員の声

わたしの健康習慣

赤磐市老人クラブ連合会
山陽支部高富地区老人クラブ

堀木千代子 75歳



「朝ごはんはちゃんと食べてきたか」私が老人クラブでいつもみんなに言う口癖です。細木カズコさんが「毎日の生活習慣を気をつけければ120歳まで生きれますよ。私は240歳まで生きますよ。」という言葉が好きです。私は朝・昼・夕と毎日決まった時間に食事をします。人は



食べ物や消化するのに2時間かかると言われています。なので7時には夕食を食べ、その後は間食はしません。消化する前に寝てしまうと、胃に負担がかかり次の日の朝食が欲しくなくなるのだと思います。そして朝食を抜くことで頭がぼーっとしてしまいう悪循環になります。あと、お休み前にはラジオ体操をするようにしています。この習慣を30年以上続けています。30年間体重もほとんど変わらず、30年以上前の服も今でも着れます。私が思う健康とは、毎日健康第一で習慣化することです。私の母はお茶の代わりにお酒を飲むほどお酒が大好きでした。その影響もあり、私もお酒が大好きです。「ついつい飲みすぎてしまった」という声をよく聞く事があります。お酒は適量飲むから血流が良くなり、健康にいいのです。飲みすぎたら元も子もありません。大好きなお酒を毎日5〜6合飲むのより、毎日ちょうど1本までに飲むのを抑え

た方が健康で長くお酒が楽しめるのではないのでしょうか。健康で楽しいクラブ活動を通して地域の役に立つことが、今の私の生きがいです。

私の生き甲斐

総社市階田老人クラブ

森上 直子 75歳



いつの日か子育てと仕事の区切りがいたらボランティア、福祉に役立ちたいと思っています。老人クラブへ入るといろいろなお出合いが待っていました。当時の会長がこんな講習会があるので出てみないかと声をかけて下さり、友達と参加してみました。これがふれあいサロンとの出会いです。もう何年も継続しています。老人クラブに入ること、友達もでき、名前が分からなくても笑顔で挨拶が出来るようになりました。百歳体操にも出会えました。百歳体操は地区で毎週火曜日に行われています。地域の方々に喜ばれている集いです。老人クラブでは、長い間女性委員長をさせていただきましたが、最高に喜ばれたのは、『歌声喫茶』の企画。各テーブルの中央に花を、色紙の上にお菓子と習った祝鶴を折って飾りました。90



人から歌声と笑顔。楽しかったです。「またやって」の声にやりがいを感じました。女性リーダーの集いでは、ディस्कン、ベタンク交流会、クリスマスリース作り、レクレーションなどをしました。レクレーションの中には、「いきいきクラブ体操」を取り入れます。私は知的なことは、出来ないが身体を動かすことは好きです。火曜日は百歳体操、午後は傘踊り。水曜日はベタンク。木曜日は銭太鼓。金曜日は扇舞と日替わりメニューが続く毎日。ボランティア活動も忙しいです。先日はれんげ祭り、藤まつり、そして地区の敬老会。介護施設へも慰問し、習い事を役立てています。それぞれの場所で笑顔と元気をもらって帰ります。私の人生は感謝感謝です。私を支えてくださった友、力

を貸してくれた地域の方々に。これから先も枯れる事なく、楽しい人生を送りたいです。そして、皆の笑顔に出会いたいです。

私の健康づくり

早島町老人クラブ連合会 会長
無津七社クラブ

川本 一明 80歳



私が早島町老人クラブ連合会の会長になってから、今年で3年目になります。何もわからない状態からスタートして、それでもここまでなんとかやってこられたのは、各地区役員の皆様や、会員の皆様のおかげだと思っております。早島町老連では以前から会員加入促進に努めてまいりましたが、県老連の「2万5千人会員増強運動」を受けて、未組織地区への働きかけを強化しました。その甲斐もあって、27年度から1地区新たな単位クラブを組織することができ、老連にも加入いただくことができました。この老連での活動が私にとっての健康づくりになっています。早島町老連ではグラウンド・ゴルフが盛んで、毎年3月に開催している大会では大勢の会員の方に参加いただいています。私自身プレーをしたことはありませんが、プ



レーしている皆様の晴ればなとした表情を見ると、こちらまで元気になってきます。また、私が健康づくりとして個人的に取り組んでいることはウォーキングで、毎日1時間程度町内を歩いていきます。町で行われるイベントにも積極的に参加しています。5月に行われた健康ウォーキングでは、木見駅から児島田の口までのコース約10キロ、景色を楽しみながら歩いてきました。

80歳になる私ですが、健康づくりを目的とする老人クラブの会長として、会員の皆様とともに私自身もこれからもウォーキングを続け、健康を大事にし、健康づくりに励んでいきたいと思っています。

私の生甲斐の数々

美作市老人クラブ連合会 英田支部 副支部長

豊福 数恵 73歳



私達は、国道374号線の福本から北へ3キロ程の山間の小さな集落ですが、ふれあいを大切に、健康体操・いきいきサロン活動・スポーツ等やっています。そして私は、年金が満額いただける65歳迄働きました。お陰様で健康に恵まれ、スポーツ・ドライブ・旅行等飛び跳ねるのが大好きです。近所の友達から「何処何処の温泉に連れてって」と声が掛かる「うーん良いよ」と仲良しに声をかけ車1台5人ですが再三出かけています。そして老人クラブ、グラウンド・ゴルフ協会、年金受給者協会にそれぞれ入会して、お世話をさせて頂いております。先ず月の第2木曜日には、コミュニティハウスで健康体操をやっています。私より若い人でサポーター研修を受けたリーダーを中心に椅子に座って筋力体操や柔軟体操等を音楽に合わせて楽しくやっています。途中水分補給タイムもあり、コーヒー等の



接待をします。すると誰かが話題を出すと、話しに華が咲きやかな雰囲気でおしゃべりが出来ます。こうして皆が一堂に会してふれあい笑ったりと、お話を傾聴するのも老人にとっては良いことだなあとしみじみ感じます。いきいきサロン活動も老人の中でも若手が調理を担当します。会食後のふれあいゲームも何にするか試行錯誤して頑張っています。スポーツは、毎週水曜日の午前中有志でゲートボールをしてふれあっています。又毎週土曜日には、グラウンド・ゴルフもしています。ホールインワンが出ると「やったあ」と嬉しく50円の基金を出し合います。それが5、6千円貯まるとミニ大会を開催します。集金・賞品の買出し、日々のスコアカード・成績表等をパソコンで作成するのもすべて私の仕事です。「私がしないと誰がするん」と言う気持ちで飛び跳ねて奉仕活動を生甲斐に頑張っている昨今です。

私の健康法

和気町老連・大田原明友会 小野田和義 70歳



私は、現在糖尿病を患い、インシュリンの注射をしています。約10年前、勤めを定年退職し、ごく普通に生活していましたが、ある年の健康診断で、再検診を勧められました。体調が悪いわけでもなし、「まあいいかな」と考えていました。妻から「せっかくの機会だから自分の体調を知っておくのもいいのでは」と言われて、受診しました。医師から「インシュリン注射が必要です。今日から始めてください」と言われ、注射の方法を教わりました。食事や日常生活の諸注意も受け、突然のことではいろいろと戸惑いましたが、何とか普通に生活していかなければなりません。

そこで、(1)食事の摂り方 (2)日常の生活リズムの確立を考えました。

食事の摂り方は、朝食は野菜中心で、ご飯・麺類・パン等の糖質は摂らないこととして、味噌汁以外は自分で調理して食べることにしました。昼食と夕食は普段どおりにしたのは、外食や会合等で不規則になることも多く、また、家族への負担がかかりすぎると思ったからです。

お陰さまで、約5年間続けて、少しだけ調理もできるようになりました。

日常の生活リズムは、まず家に引きこもりがちにならないようにするため、頼まれた世話はできるだけお引き受けしようと思ひ、誓ひまして、そのお役が私でよいのでしようかと念押しして受けさせてもらっています。

もう一つ、少しの田畑がありますので、野菜作りを採れたての旬の野菜を近所のかたにお配りしています。畑の隣に50戸ばかりの団地がありますので、朝取れの野菜を少量ずつ数軒に押し付けて、自己満足しています。

月一度の定期診断の数値も悪いなりに安定していますので、今後もこの状態が少しでも長く続けられるよう気をつけていきたいと思っています。



楽楽
カード

2015年8月 新規協賛店

コピーを切り取って「協賛店一覧」に貼りご利用ください。

稲荷山健康センター
岡山市北区高松570 ☎086-287-3900

★入館料1,800円→800円
※最上稲荷近く。漢方勵明薬湯で元気回復。休憩室など付帯施設も充実、ゆったり過ごせます。
✂キリトリ

岡山県警察 高齢者交通安全ニュース

自転車の安全利用促進について

ルールとマナーを守り、 自転車を安全に利用しましょう!

岡山県内での、自転車に関係する交通事故による死者数は、平成26年中で16人と前年に比べ8人減少したものの、自転車の関係する事故が全交通事故の16.8%を占めるなど、依然高い割合で推移しています。

また、自転車乗用中の死傷者のうち、法令違反が認められる人の割合が、6割を超えるなど自転車をめぐる交通情勢は予断を許さない状況です。

自転車は便利で、環境にも優しい乗り物ですが、交通ルールを守って、安全に利用することが大切です。

◎飲酒運転、傘さし運転、また運転中の携帯電話は、絶対にやめましょう。

◎ライトは早めに点灯しましょう。

◎子どもはヘルメットを着用しましょう。

◎自転車が事故の加害者になる場合もあります。賠償責任保険や傷害保険への加入も検討しましょう。



自転車は ルールとマナーが 両輪です



交通ルールを守って、安全に
自転車を利用しましょう。

老人クラブ会員の皆さまへ

平成25年10月1日改定

〈平成25年9月1日以降のお申込みから適用〉

ケガの 老人クラブ傷害保険のご案内

総合型

24時間いつでも、
どこでも
ケガが心配
という方におすすめ

年間掛金
3,500円

日常生活全般のケガを補償

さらに
充実補償の **5,000円** **10,000円** もあります。

年間掛金		総合型 3,500円	
ケガをしたときの状況		クラブ活動型	24時間型
		活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
補償内容	死亡保険金	45万円	91万円
		136万円	
	後遺障害保険金 ^(注1)	45万円	—
		45万円	
入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	750円	
	1,750円		
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	500円	
	1,150円		

☑ 総合型のクラブ活動中のケガの場合は、**白地** + **薄いグレー** の合計 **黒色** の補償額が支払われます。

☑ 総合型のクラブ活動中以外のケガの場合は、**薄いグレー** のみの補償額が支払われます。

※総合型の掛金・補償額は、職種級別A(無職、事務職等)の方を対象にしたものです。職種級別B(農林業業者等)の方は、掛金、補償額が変更になりますので、代理店または保険会社までお問い合わせください。

クラブ活動型

クラブの
行事や活動に
よく出かける
という方におすすめ

年間掛金
500円

クラブ活動中と
その往復途上のケガを補償

さらに
充実補償の **1,000円** **2,000円** もあります。

年間掛金		クラブ活動型 500円	
ケガをしたときの状況		活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
補償内容	死亡保険金	45万円	補償なし
	後遺障害保険金 ^(注1)	45万円	
	入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	
	通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	

(注1)後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)

(注2)手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍また入院中は、10倍となります。

公益財団法人 **全国老人クラブ連合会** 保険係 **03-3597-8770** | 受付時間 9:30~17:30 (土、日、祝祭日休)

〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144
FAX番号 03-3597-8767

■この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日改定)」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ(<http://www.senior-ltd.com/>)でもご確認いただけます。 13-T-03898 平成25年8月作成

県老連等の行事

9月20日(土)	全国一斉「社会奉仕の日」	
10月8日(木)	平成27年 岡山県総合社会福祉大会	岡山市民会館
10月28日(水) ・29日(木)	第44回 全国老人クラブ大会	静岡県

平成27年度(第40次)
岡山県老人福祉大学 日程

	岡山 岡山県総合 福祉会館	倉敷 くらしき健康 福祉プラザ	津山 津山市総合 福祉会館	高梁 高梁文化 交流館
9月	2日(水)	11日(金)	4日(金)	14日(月) 25日(金) (7月振替)
10月	2日(金)	20日(火)	28日(水)	14日(水)
11月	6日(金)	27日(金)	25日(水)	12日(木)

※講師の都合等により日程が変更することがあります。

平成27年度
地域包括ケア普及研修会 日程

岡山	9月7日(月)	きらめきプラザ
津山	10月6日(火)	津山市総合福祉会館
倉敷	11月11日(水)	くらしき健康福祉プラザ

※日程は講師の都合等により変更することがあります。

2014年新発売 老人クラブ傷害保険付帯 賠償責任保険のご案内

10月1日から
1年間補償
クラブ会員、全員
一括で加入の場合
のみ中途加入可

対人事故

活動中に
誰かにケガ
をさせてしまった。

どくしやう

対物事故

活動中に誰かの
モノを壊して
しまった。

ご安心ください。

お一人あたり 年間掛金100円 月約8.3円 の保険です。

年間掛金	(お一人年間掛金) 全会員数 × 100円	[賠償責任] お支払限度額 1億円	ご自身のクラブ活動中のケガについて死亡・後遺障害45万円の補償がセットになっています。
保険期間	10月1日(午前0時)～翌年10月1日(午後4時)		
申込締切	9月15日まで(申込書類必着のこと)		
中途加入	全会員一括で加入の場合のみ中途加入可		

※上記保険期間開始後の申込み可能(毎月15日まで申込みの場合、翌月1日から加入)
※ただし、保険期間は加入月にかかわらず10月1日までとなります。
※お一人年間掛金100円は加入月にかかわらず同額となります。

1クラブ
年1回加入

編集後記

5月から県老連事務局に2名の新人を迎えました。主事の張田美香と事務職員のはりたみかの山上 絢子の二人を迎え4人体制へ戻りました。みなさんのご協力をいただきながら頑張りますのでよろしくお願い致します。

市町村老連をはじめ関係者の方のご協力により会員紹介、クラブ活動紹介記事の寄稿をお願いしておりますが、これからは飛び入りも大歓迎で、会員の皆さんに是非知らせたい出来事とか(嬉しいこと、悲しいこと等)、隠れた地域の観光穴場、地域の伝説等についての記事をお寄せいただければありがたいです。できるだけ多くの皆様に興味をもって県老連機関誌「晴ればれシニアおかやま」を読んでいただけるよう努力してまいります。

紙面の関係もありますが、順次紹介してまいりますのでよろしくお願いいたします。



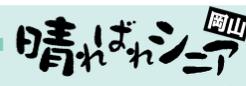
老人クラブとは

老人クラブは、おおむね60歳以上の高齢者が地域で自主的に参加しているクラブです。市町村の老人クラブを県老連でとりまとめています。高齢者の経験、知識を生かし、地域社会に貢献するとともに、生きがいと健康づくりのために相互に支え合うことを目的として運営されています。

岡山県

■会員数
156,809人

■クラブ数
2,780クラブ
(平成27年3月末現在)



(発行部数: 50,000部)

発行: (公財)岡山県老人クラブ連合会
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13番1号
岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館
(きらめきプラザ内)
TEL (086) 226-2877 FAX (086) 226-2881
企画・印刷: 昭和印刷株式会社
岡山市南区豊成3-1-27 TEL (086) 264-6110